



脱炭素化 脱炭素チャレンジインフォメーション vol.7

本町は、令和5年3月に脱炭素のまち宣言を行いました。
町民の皆さんにも取り組んでいただけるよう、定期的に情報を届けします。

飯南町では太陽光発電の効率が悪いと思いませんか？

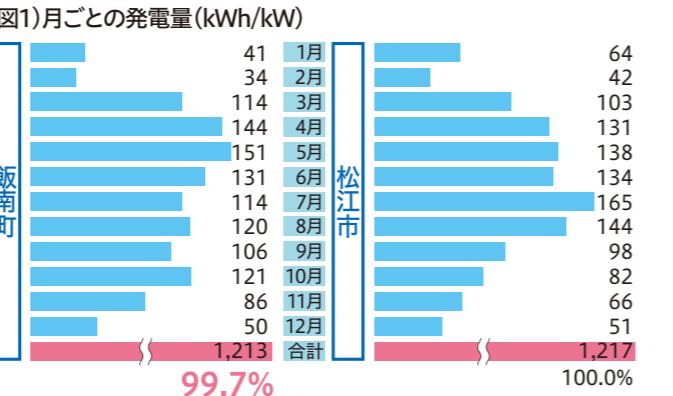
12月13日に太陽光発電セミナーを開催し、16人が参加されました。

太陽光発電は、雪が降らず日射量の多い地域に適していると思われている方も多いと思います。

セミナーでは、「なぜ今太陽光発電なのか？」「雪国で設置する場合の注意点」のほか、松江市内での発電量を100%とした場合、飯南町内でも99.7%に相当する電気を発電している実例も紹介されました。(図1)

太陽光発電は、屋根の方角や、影になる障害物の有無等によって発電効率は様々です。電気を使う時間帯や量によつても、効果は大きく異なります。

最大限の効果を發揮させるためには、各ご家庭や事業所に合った検討を行った上での設置がポイントと言えます。



事業所向け補助金情報

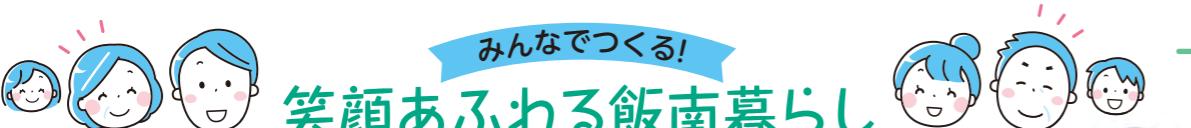
島根県では、中小企業の皆さんを対象に導入経費の一部補助しています。

- 太陽光発電設備 補助金: 5万円/kW 上限: 200万円
- 蓄電池 補助金: 1/3 上限: 159万円

問い合わせ先
島根県中小企業団体中央会
0852-21-4809



補助金の詳細はこちら



「笑顔あふれる飯南暮らし」をテーマに、各地域で取り組まれている活動を取り上げていきます。

今回は地域おこし協力隊 食のコーディネーター担当の正戸が、活動をレポート

食の魅力をきっかけに、まちを知ってもらう

島根への移住を検討している人、島根のことが気になっている人たちが来場する「しまね移住フェア」。昨秋、大阪と東京で開催されたフェアでは、飯南町の移住相談ブースの隣で「いいなんマルシェ」を出店。町内事業者の皆さんにご協力いただき、パプリカや舞茸、クロモジ製品など、町内の産物を販売しました。

マルシェに立ち寄った来場者が商品を手に取る中で、「飯南町はどんなところ？」「暮らしはどうな感じ？」と移住相談ブースへ足を運び、会話が弾む場面も見られました。中には、今年奉納される出雲大社の大しめ縄の擦り合わせに、強い関心を寄せる人も。食

や産物をきっかけに、飯南町の暮らしや文化に触れてもらえる、にぎやかな時間となりました。

こうした出会いをきっかけに、実際に飯南町を訪れてもらえたうれしいものです。関西や関東に親戚や知人がお住まいの方は、今後、飯南町が出店するイベントがある際には、ぜひ声をかけてみてください。



定住相談員や町職員と一緒にまちの暮らしをお話ししました

飯南町の食の魅力を伝えるマルシェを出店

令和7年町政座談会「まちの今と、これから」を見る

YouTube飯南町公式チャンネル(<https://x.gd/Mcop2>)からいつでもご覧いただけます。

主な内容

以下の内容について、施政方針や事業の進捗状況をご説明します。

YouTube
飯南町公式
チャンネル



質問・意見への回答

町民の皆さんから寄せられた質問・意見、回答の全文は町ホームページに掲載しています。

質問への
回答ページ



令和7年度 町政 座談会

まちの今と、 これから

今年度の町政座談会は、より多くの方に町政に関する情報を届けるため、ケーブルテレビ、YouTubeで映像を放送する形式で行いました。放送にあたり、町民の皆さんから寄せられた質問・意見と町の回答の一部を紹介します(Q:質問、A:回答)。

A 今年度は教育環境基本計画住民説明会も開催したため、映像により町政について説明することとした。町では「まちづくり懇話会」として、町政や事業の推進状況を説明する取組を行っている。「まちづくり懇話会」も活用してほしい。

Q 従来通りの対面での座談会開催を希望する。

A 頓原に作る予定の子ども広場について教えてほしい。

Q 頓原に作る予定の子ども広場についての要望書が提出された。月には頓原地区の地域運営組織「住みよい地域頓原会議」から「子ども広場」は道の駅頓原に隣接する場所で降車できると利便性が高まるので、降車できる場所で降車できると、町内夕方の要望書を参考に、来年度に整備に着手する予定。

A デマンドバスは降車場所が事前に設定された停留所に限定されているが、利用者の希望する場所で降車できると利便性が高まるので、降車できる場所で降車できると、町内夕方の要望書を参考に、来年度に整備に着手する予定。

Q 今年度は教育環境基本計画住民説明会も開催したため、映像により町政について説明することとした。町では「まちづくり懇話会」として、町政や事業の推進状況を説明する取組を行っている。「まちづくり懇話会」も活用してほしい。

A 職員配置については、役場全体として限られた人員でより効率的な配置となるよう努めている。産業振興課は専門的な分野の業務が多く、1人では対応が難しい業務も課全般に職員を配置することは難しい。農業分野においては11月より、担い手支援センター専任職員を配置。町民の方からの問い合わせは、必要に応じて対応している。従つて頓原基幹支所に職員を配置することは難しい。

Q 農業関係の補助金について尋ねたい場合、本庁舎まで出向くのは不便。頓原基幹支所にも産業振興課職員を配置し対応してほしい。

A 6月に行なった防災訓練は、自治区長・自治会長・組長の方を中心、避難所開設の基本的な流れを確認することを目的に実施した。避難所運営など、実際の災害を想定した防災研修を毎年行なっている自治区・自治会にとつては、今回の訓練は不十分に感じられたかもしれない。今後の訓練内容については、皆さまからのご意見を参考により実践的な訓練のあり方も検討していきたい。

Q 町主催の防災訓練は、実際の災害を想定した訓練を本気ですべてではないか。

笑顔あふれるまちづくり懇話会

町では、住民と行政の意見交換の手段の一つとして「笑顔あふれるまちづくり懇話会」を随時開催します。

対象

若者、高齢者団体、地域コミュニティ、学校などどんな団体グループでも対象



詳しくはお問い合わせください。

問合せ まちづくり推進課

76-2864

詳しくはお問い合わせください

Q 町長は10、20年先についてどのようなビジョンを持っているか。

A 第3次総合振興計画では、人口目標を総合目標に掲げて、専任職員や担当職員が頓原基幹支所でも対応できるようにしたい。

Q これまで公約に掲げてきた重点政策、「子どもたちの声が聞こえるまちづくり(少子化対策)」「安心・安全な公共交通に係る住民アンケートも頂いており、これらを運行に反映していきたい。

Q 町長は10、20年先についてどのようなビジョンを持っているか。

A 第3次総合振興計画では、人口目標を総合目標に掲げて、専任職員や担当職員が頓原基幹支所でも対応できるようにしたい。

Q これまで公約に掲げてきた重点政策、「子どもたちの声が聞こえるまちづくり(少子化対策)」「安心・安全な公共交通に係る住民アンケートも頂いており、これらを運行に反映